

木曾福島 (ながのけん きそふくしま)

松本で一仕事して、次の日は名古屋、大阪に連チャン・・・という時には、中央本線で名古屋に移動する途中で1泊してブリーチャーWalk。中央本線は中山道沿いに走るので、奈良井や中津川、恵那など魅力ある街が並んでいますが、ここでは木曾福島に下車してみること...

日本橋と京都・三条大橋を結ぶ中山道は、江戸時代の五街道の一つとして重視され、木曾路と呼ばれていました。

「木曾路はすべて山の中」とは島崎藤村作「夜明け前」の一文。中山道の要所であり、37番目の宿場町・木曾福島は関所としても重要な位置にありました。

昭和2年の大火で、町のほとんどが焼失しましたが、往時の面影を残して再建されたこと、そして武家屋敷が並ぶ「上の段」地区は火から逃れたため古い町並みが残っています。



福島関所は江戸幕府が江戸防衛のため五街道の各所に張りめぐらした関所の中でも特に重視され、東海道の箱根新居、中山道の碓氷と並び四大関所の一つに数えられています。往時の姿を忠実に復元した関所資料館には古い資料や武具などが展示されています。近くには藤村の小説「家」のモデルになった高瀬家もあって見学できます。

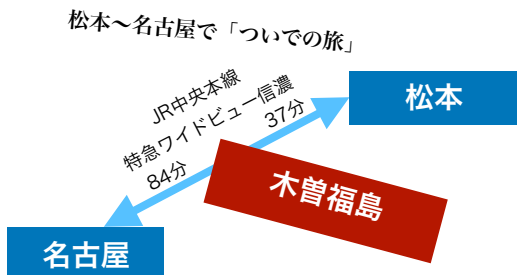


木曾福島で絶対に訪れたいのが興禅寺。とにかく庭が素晴らしい。池のある「万松庭」にしびれながら先を行けば、なんと昭和期の日本を代表する作庭家**重森三玲**（しげもりみれい）による石庭が目前に広がります。看雲庭という名の日本一広い石庭。まさか木曾福島で重森三玲に出会うとは。



中山道37番目の宿場は見所いっぱい 長野県木曾福島

木曾福島の散歩は半日で丁度良いくらい。お土産屋が並ぶ駅前から少し歩いて旧中山道の商店街に降ります。そこから木曾川に掛かるコンクリート製の「大手橋」を渡れば、立派な**山村代官屋敷**があって見学できます。ブラブラと先を行けば庭がすごい**興善寺**が現れて、重森三玲設計の日本一大きな石庭に佇めば、木曾福島の文化の深さがジンジンと湧き上がってきます。再び木曾川を渡り返せば眼下に木曾川の流れがゴーゴーと音を立てています。目の前に関所跡。往時を再現した**関所資料館**で関所の様子を偲びます。その近くには**島崎藤村**の姉が嫁いだ高瀬家があり、商店街に降りる小径は、藤村の小説「初恋」にちなんだ**初恋の小径**。恋の句があちこちに…。城下町の風情を残す武家屋敷は上の段にあつて、幾つもの小径を彷徨えば、江戸時代の中山道の賑わいと繁栄がみえてきます。宿も充実していて、温泉宿もあります。商店街の喫茶店に入れば、町の人がくつろいでいます。



商店街の喫茶店クマタ



関所から商店街に降りる「初恋の小径」

松本・名古屋間を特急ワイドビュー信濃が1時間に1本走っています。木曾福島までは、松本からだたったの37分、名古屋からだと84分。松本～新宿は特急あずさで2時間半掛かるので、松本から木曾福島に行く場合には名古屋経由で帰京の方が早そうです。

木曾福島観光協会 <http://www.kankou-kiso.com>